

## 20周年記念号



### ご挨拶

社会福祉法人 浄山会 理事長  
介護老人福祉施設 つきかげ苑 施設長 稲岡 正純

社会福祉法人浄山会が運営する、介護老人福祉施設「つきかげ苑」が創立20周年を迎える事が出来ました。これ偏にご入居者並びにご家族、地域住民の皆さま、京都市はじめ自治体そして医療機関、ボランティア各位の皆さま方の暖かいご理解、ご支援の賜物であると心から厚く御礼を申し上げます。

つきかげ苑は、浄土宗大本山清浄華院が「法然上人800年大遠忌」の記念事業として、「浄土宗21世紀劈頭宣言」を受けて当時の大田秀三法主台下並びに、江藤英賢執事長の発願により「慈しみ」と「共生」の心を持った個室70床の介護老人施設が平成16年8月に創設され、ここに名実ともに「福祉の大本山」が出現したのであります。「つきかげ苑」の名称は、法然上人の歌で浄土宗の宗歌になっている「つきかげのいたらぬ里はなけれども眺むる人の心にぞすむ」から名づけられました。この世に生を受けた人生のすべてを有難く受け入れて全うしていく「終の棲家」としてふさわしく、仏の教え「慈心相向 佛眼相看」（慈しみの心でお互いに向かい合い、仏の眼差しでお互いを見る）の心に満ちた共生の福祉施設を志しました。

つきかげ苑は京都御所に隣接して静かな大本山清浄華院の境内にあり、近くには鴨川が流れ、東山には比叡山、大文字も眺められる自然環境に恵まれた街中では望むべくもないような環境であります。施設は全室個室のユニットケア方式を取り入れて、多目的ホール（仏間）での法話や、学童・園児の慰問、華道・書道の指導、ボランティア活動の方々との交流、そして何よりもご家族の面会が多く、とても開かれた施設であると自負しております。

新型コロナウイルス感染症の長期にわたる福祉現場への影響の中、つきかげ苑はご入居者のいのちと生活を守るために、職員並びに関係者は強い緊張感を持ちながら業務に携わっておりました。強い使命感と適切な対応を献身的に行った職員、それを支え支援して下さったご家族や多くの関係者に心から感謝いたします。一方でご家族の皆様には面会制限等のお願いを致し、辛い思いをされている事に心を痛めておりましたが、コロナ禍が終息に向かっている今日、長期に及ぶご協力を賜りましたことを重ねて御礼申し上げます。

これから押し寄せる超高齢社会の時代を見据え、そして先駆者の志を汲み我々職員一同、基本理念の「共生思想」に基づく利用者本位の明るく、楽しく、やすらぎのある施設運営を目指してまいります。社会福祉法人浄山会つきかげ苑が益々多くの皆さまに支持される施設となるため、ご関係者の方々の更なるご理解とご支援を頂戴できますよう何卒宜しくお願い申し上げます。



**2003年** (平成15年)

**法人設立**

宗祖法然上人八百年大遠忌記念事業として  
社会福祉法人「浄山会」を設立しました。



**2004年** (平成16年)

**竣工・竣工式～開設**

地元住民の皆様のご理解のもと、  
7月竣工・8月開設に至りました。



**2005年** (平成17年)

**4月 広報誌「月華」創刊**

現在77号までの発行に至り、  
20年の軌跡をたどることができます。



**7月 つきかけ苑孟蘭盆法要始まる**

関係物故者を供養する恒例行事となりました。



**8月 初めての月華祭**

年1度のイベント「月華祭」はこの年から始まりました。  
平成28年までは五山送り火に合わせて開催。平成29年以降は敬老の日に合わせて開催しておりました。近年はコロナ禍での開催中止、開催規模縮小と残念な思いをしておりましたが、今回の祝賀会を機に今後は通常開催を目指します。



**2006年** (平成18年)

**ペーパーレス、業務効率化を目指しIT化の促進**

- ・浄土宗社会福祉交換研修への参加
- ・地元幼稚園、小学校との交流開始  
子供達は皆さんに元気を与えてくれます



**2007年** (平成19年)

**消防訓練**

年に2回の消防訓練が義務づけられています。  
いざという時の備えが大切です。

**お誕生会**

ご入居者がお茶をたててください、わいわいとにぎやかに。



**2008年** (平成20年)

**苑内葬儀**

ご家族の希望に沿うべく初めて苑内葬儀を行いました。  
普段参列できないご入居者、職員もお別れすることができるようになりました。



**遠出レクリエーションの開始**

この年は神戸まで足を伸ばしました。  
以後、遠出レクリエーションは毎年のイベントになっておりましたが、ここ数年コロナ禍で自粛しております。また再開したいと思っております。



**2009年** (平成21年)

**運動会**

京極小学校の運動会に参加させていただきました。  
玉入れ競技には夢中になります。



**映画村へ**

この年は要望が多かった東映太秦映画村へ繰り出しました。  
皆、懐かしいと大評判でした。



**車椅子の寄贈(上京ハッピーマザー)**

空き缶のプルトップの回収にて上京ハッピーマザー様より  
車椅子を寄贈していただきました。  
平成25年にも再度寄贈いただいております。  
引き続きプルトップの回収にご協力をお願いいたします。



**2010年** (平成22年)

**実習生の受け入れ開始**

今では少子化・若年労働力の不足・介護職の人材不足が当たり前となっておりますが、  
当時は大学・短大・介護・栄養士専門学校等の実習生の受け入れも多く、  
そのまま当苑に就職されたケースもありました。



**2011年** (平成23年)

**あちこちお出かけ**

東映太秦映画村や嵐山美空ひばり館、京都市動物園等、  
ご入居者の要望に応えるべく、あちこちとお出かけが増えていきました。



## 2012年(平成24年)

### ・電車に乗って

施設の車ではなく、電車に乗ったり、琵琶湖まで遠出をしたり、いちご狩りに足をのばしたり、外出の場所や方法も増えていきました。



## 2014年(平成26年)

### ・2F個別介護浴槽の寄贈

上京区の篤志家様より介護浴槽を寄贈していただきました。大切に使用させていただいております。



## 2015年(平成27年)

### ・満足度調査開始

ご入居者、ご家族の満足度調査を開始しました。ご回答をもとにサービスの向上に役立てております。



### ・日本舞踊ボランティア

ボランティアの方々の来苑も多種多様となりました。



### ・葵祭

葵祭の見物も春の恒例行事となりました。



### ・流しそうめん

夏の流しそうめんは掴む難しさとおいしいさで大好評です。



## 2016年(平成28年)

### ・御霊祭

毎年、苑前で大きく神輿を揺らしていただきます。迫力のある神輿に思わず声があがります。



### ・京極小学校体験学習

お話ししたり折り紙やあやとり、楽しいひと時はあっという間でしたが笑顔が絶えない特別な時間となりました。



### ・敬老会

夏は月華祭、秋は敬老会とまだまだイベントは続きます。



### ・城崎温泉1泊2日旅行

練りに練った計画のもと新幹線に乗り込みました。ゆっくりと温泉に浸かり、城崎マリンワールドで動物と触れ合い思い出に残る癒しの旅となりました。



## 2017年(平成29年)

### ・宝塚歌劇団

ご入居者かつての希望で宝塚まで足を運びました。親戚の晴れ舞台を観劇、また一つ夢が叶いました。



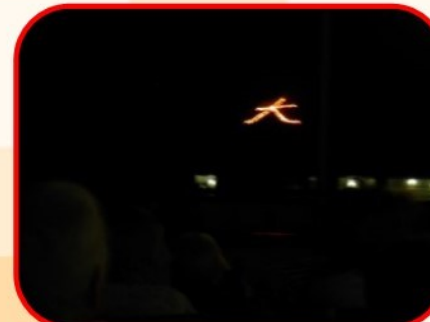
### ・阿闍梨さんの千日修行

千日回峰行に挑まれている阿闍梨さんが立ち寄ってくださり、皆で「お加持」を拝受しました。この貴重なご縁を大切に、私達も徳を積み重ねていきたいと思います。



### ・五山送り火

毎年、8月16日は送り火にて故人を偲びます。おごそかに夏が終わっていきます。



### ・京都市動物園

リニューアルされた園内を散策し、キリンやゾウに圧倒されて歓声を上げながら楽しい時間を過ごすことができました。動物との触れ合いで普段見られない表情を見せていただきます。



## 2018年(平成30年)



- ・**京都市水族館**  
ご家族も参加にて観賞しました。イルカショーでは拍手や歓声があがり皆で大いに盛り上がりました。ペンギンも親子連れです。
- ・**京都府立植物園**  
広い園内をご家族と共に散策しました。外の空気に触れるのは良い気分転換となり喜ばれます。



- ・**紅葉ドライブ**  
紅葉の時期には宝ヶ池までドライブです。眺める風景に話が盛り上がります。車から降りて記念撮影、思い出がまたひとつと増えていきます。

- ・**ハラスメント研修(管理職対象)**  
社会保険労務士の講義にて実施しました。事業所として時勢や世情に対応していくことも重要なことです。

### ・多目的ホール一般利用

地域の会合、打ち合わせなど、社会資源としての施設活用を積極的に提案しています。公益的な取り組みとして介護福祉説明会や見学会の開催も社会福祉法人としての役割です。



## 2020年(令和2年)

### ・4月 新型コロナウイルス緊急事態宣言(全国)

- ・2月 新型コロナウイルス施設内感染対策開始  
面会、外出、新入居者の受け入れ、レクリエーション活動等の制限・中止。



- ・4月 ビデオ通話の利用開始  
施設のタブレット端末を使用してオンラインで面会できるようにしました。
- ・7月 多目的ホールでの面会開始  
時間、回数の制限を設けた予約制の面会を開始。
- ・11月 ベランダでの面会開始  
居室のベランダから窓越しに面会できるようにしました。

### ・1月 新型コロナウイルス緊急事態宣言(京都)

### ・4月 新型コロナウイルス緊急事態宣言(京都)

### ・8月 新型コロナウイルス緊急事態宣言(全国)

### ・電話通信機器一式更新

非常時における老朽化での設備不良に対応すべく機器を一新しました。

### ・コロナ禍での地域交流

京極小学校から心のこもったお手紙と折り鶴をいただきました。コロナ禍で施設運営をしていく中で大きな励みとなりました。



## 2021年(令和3年)

## 2019年(平成31年令和元年)



### ・地域事業の共同開催

介護予防サービス出町茶論様と共同で読み聞かせを開催。地域の方々のご協力にて多くの方々に来苑いただきました。

### ・きょうと福祉人材育成認証制度認証事業所登録

京都府が就職活動される方に向け安心して働ける福祉職場を紹介する制度です。入居を検討されている方においても選択の指標となると考えております。



### ・RUN伴(認知症サポート啓発イベント)

各福祉事業所がたすきを繋いで京都中を完走するイベントに参加。激走したのはつきかげシニアーズです。

### ・空調給湯設備更新工事

ライフラインの老朽化は緊急時の対応に不安が付きまといまいます。設備に対しては不安なく毎日を過ごしていただきたく思っております。

### ・鴨沂高校福祉体験学習

多くの生徒さんに来苑していただきました。将来は「高齢者と関わる仕事に就きたい」「介護ロボットを作りたい」などの頼もしいお話を聞くことができました。次世代から勇気をいただくことができた素晴らしい機会となりました。



## 2022年(令和4年)

### ・8月 新型コロナウイルス入居者初感染

以降、施設内で断続的に感染者が発生する。初の施設内感染となる。

### ・12月 苑内全館照明LED化

電気料金の大幅値上げに対してコスト削減のため施工することとなりました。

## 2023年(令和5年)

### ・8月 コロナ禍以降初のクラスター認定

5月からの新型コロナウイルス5類感染症移行にも関わらず施設内で感染が急速に拡大。京都府新型コロナウイルス感染症施設内感染専門サポートチームからの派遣看護師の協力もあり、なんとか乗り切ることができました。感染者数は入居者17名・職員9名までに至り、終息には1ヶ月弱を要しました。

### ・9月 江藤理事長逝去～稲岡理事長就任(施設長兼任)

法人設立以来の江藤理事長が逝去、現施設長である稲岡が理事長・施設長兼任という形で就任いたしました。

## 2024年(令和6年)

### ・BCP(事業継続計画)策定

自然災害の被災にあった場合でも事業を継続、早期復旧ができるよう計画を策定。

### ・8月 創立20周年

8月1日で創立20年を迎えました。

### ・9月 新型コロナウイルス対応の大幅な緩和

面会やレクリエーションの実施等、コロナ禍前に近い状態にしていくことになりました。

### ・11月 つきかげ苑 創立20周年 物故者法要・記念祝賀会開催



## 特殊浴槽が新しくなりました!

このたび、公益財団法人JKA様から二〇二四年  
度福祉機器の整備・機械振興補助事業による助成金  
の交付を受けて「特殊浴槽更新事業」を完了いたし  
ました。

二〇年間使用した旧設備は老朽化にての故障、修  
理部品調達困難等、使用限界を迎えておりました。  
まさに新規入れ替えを検討していた時期に応募く採  
択していただきました。最新機器の導入は入居者様  
の安心・安全の向上、職員の業務環境の改善につな  
がります。

ここに事業完了のご報告を申し上げますと共に、  
公益財団法人JKA様のご厚意に謹んで感謝申し上  
げます。



## 「活躍いただいた」

### ボランティアの皆様

※順不同・敬称略

京極小学校・京極幼稚園・京都傾聴塾・きょうと傾  
聴サーブス「ひまわり」・華頂ライオンズクラブ・  
宇野紙株式会社(貼り絵)・江藤喜久子(習字)・  
江藤美子(ピアノ演奏)・浄土宗児童教化連盟・葛  
城房枝・北敏子・スイマルク(車いす点検)・モン  
キーポッド(楽器演奏)・京極学区ボランティア・  
京都大学叡風会(和楽演奏)・中川友斗・橋本ゆか  
り・西尾淑子・二宮瑞記・美作ちこ・吉村正昭・佛  
教大学児童教化研究会(人形劇)・長谷陽子(ピア  
ノ演奏)・琴伝流大正琴花木・琴伝流大正琴はな  
みずき・岩崎あずき(音楽体操)・佐々木和子(オ  
カリナ演奏)・青木俊子・梅木富久子・フラワース  
スターズ(音楽)・ヒローズ(ギター演奏)・吉村  
侑里子・工藤了子(画写花)・MOMO(音楽)・  
岡田美智子・那須陽子・奥西唄子・宮山華奈・酒谷  
八重子(ギター演奏)・京極民生児童委員会・新田  
稔(ハーモニカ演奏)・浜手美樹・前畑美紀子・澤  
井裕美・佐藤若菜・かりん(コーラス)・中村優紀  
菜・眞嶋優希・増池ひたき、あと(バイオリン演  
奏)・梶井善徳・藤鳴会(日本舞踊)・明治大学落  
語研究会・嶋林亜美香・小杉まゆみ・佐伯絵里奈・  
小寺啓介(手品)・田花陽子・柴田香代子・齋田優  
子・原悦子・岡野恵俊・續木泰子(園芸)・福原則  
子(園芸)・森川貞子(書道)・はな♪いるこんぺ  
いとう(音楽)・コンマニア(コーラス)・大本山  
清浄華院(浄土宗勤行)

## あとがき

開設から20年、三九〇名のご入居者、  
五五〇名の役員、ボランティア・地域・  
業者の皆様や入居者および職員のご家族を  
含めると二千を超える方々との縁があつ  
たことになりました。多くの皆様方の支えが  
あつて「二十歳」を迎えることができました。

このたびの二十周年記念号が77号となる  
広報誌『月華』は平成17年創刊で施設より  
一つ年下になりますが、創刊号の巻頭は、  
「温慈恵和」の尊さに触れた大田法主  
台下のご垂示でありました。また大田法主  
台下は、人が日々心得るべき素直・感謝・  
反省・謙虚・奉仕の「日常五心」を書にさ  
れ、その書道額は開設から現在に至るまで  
施設の玄関に掲げられています。

この五心は、頭ではわかつてはいるつもり  
でも、優劣・利害・損得といった価値基準  
が溢れる社会のなかで、大人になればなる  
ほど失くしてしまっていることが多いので  
はないでしょうか。成人となり新たな責任  
・役割を負う当苑において、先人の言葉・  
教えを素直に学び、すべてのご縁への感謝  
を忘れず、謙虚に歳を重ねていきたいと思  
います。そして、その積み重ねがさらなる  
地域福祉の貢献へと実を結び、三十周年・  
四十周年の折々に、皆様へ胸を張ってご報  
告できるよう日々励んで参ります。